

「第21回 ゆきかう那賀川推進会議」を開催

令和7年9月3日（水）に、「ファガスの森 高城（以下、ファガスの森。）にて、「第21回 ゆきかう那賀川推進会議」（以下、推進会議。）を開催しました。今回の推進会議には、委員10名とオブザーバー1名の計11名が出席しました。

今回、那賀町のファガスの森で開催しました。議事－1として推進会議でも森林の大切さを理解することが重要という意見があり、委員の方々に山や森の状況を身近に知ってもらう機会として、平井委員の案内・説明でファガスの森周辺の現地見学を行いました。そこにある多様な樹木や花、鹿害による幹の皮が剥がれている現状などを確認しました。



会議（ファガスの森 高城 1階）



現地見学（ファガスの森周辺の森林）



シカの食害（幹が剥ぎ取られている状況）



現地見学（ファガスの森周辺の森林）



スーパー林道沿いの樹木

議事－2として令和7年度の取組状況の報告を行いました。

ゆきかう那賀川推進会議では、「ながかわ探検バスツアー」や「那賀川流域写真展」、「長安ロダムライトアップ」、那賀川アフターフォーラム主催の「那賀川源流碑開き」の開催等について報告がありました。

議事－３として、ゆきかう那賀川推進会議で様々な提案をいただきながら進めている以下の項目の課題解決、今後の対応などについて意見交換を行いました。

1. みなみ阿波観光局からの情報発信について
2. サイクリングコースの設定（案）について
3. センチュリーランへの協力・支援について（今回中止）
4. トレイルランへの協力・支援について
5. モニュメントの設置（案）について



1. みなみ阿波観光局からの情報発信について

【事務局】

那賀川流域で開催している様々なイベント情報を「みなみ阿波観光局」のホームページに掲載させていただくことについて、年４回程度掲載可能であることを確認しました。また、ホームページへの掲載を依頼する場合の共有フォーマットの作成、みなみ阿波観光局のホームページにアップする方法について、阿南市、那賀町、国、みなみ阿波観光局の４者で打合せをしたいと考えています。

【委員】

みなみ阿波観光局については、こういう取組をしていく上でも、ゆきかう那賀川推進会議の委員に入ってもらって情報共有も出来るし、円滑に進めることが出来ると思いますがどうでしょうか。

【委員】

みなみ阿波観光局の理事長という立場なので、協力させていただければと思っていますが、観光局のメンバーとも協議させていただければと思います。また委員も事務局長がいいか、副理事長がいいかも検討させていただければと思います。

2. サイクリングコースの設定（案）について

【事務局】

徳島県では「第2次徳島県自転車活用推進計画」を策定、那賀川流域においては「那賀川流域センチュリーラン」が開催されています。これをベースとしたサイクリングコースを設定し活用することで、地域活性化が期待できるのではないかと考えており、準備会を立ち上げて、協議会を設置して、サイクリングコースの設定やマップに掲載する情報の整理等を行っていただければと考えています。スケジュールですが、最短の案で、今年度中にコースを設定し、次回の推進会議で決定、来年4月以降に徳島県のホームページに掲載していただく事を考えています。

【委員】

課題が沢山あり、年明けは早いのではないかと思います。
実際に運営するとなった場合には、メインの運営主体をどうするのか、常時の安全管理をどうするのか、何かあった時の連絡窓口をどうするかなど協議の入る前の準備として、まず行政メンバーで課題について話しあっていただき、段階を踏みながら進めてもらえればと思います。

【委員】

現在設定されている徳島県のコースの管理がどうなっているか等の情報について確認し、今後共有させていただければと思います。

【委員】

サイクリングコースを設定する場合、どの様な運用を実施するか明確に決めておく必要があると思います。例えば公認コースとして設定した後に、コースや観光名所等について電話問合せがあった場合の対応窓口やその窓口担当者への周知等も必要で、問合せに答えられないのはよくない。

3. センチュリーランへの協力・支援について

中西委員（「那賀川流域センチュリーラン」実行委員長）欠席のため中止。

4. トレイルランへの協力・支援について

【委員】

今年度の「地下足袋王子のトレイルラン・マウンテンマラソン」は10月18日ー19日（2日間）実施を予定しています。現在の参加人数は約20人で、県外からも継続して参加いただいています。こういうイベントは継続していきたい。予算やボランティアスタッフ等の支援について、アドバイス等があれば

いただきたい。

【委員】

地元の企業から支援も考えていきたいと思います。

5. モニュメントの設置（案）について

【委員】

那賀川流域には源流、長安口ダムの2カ所にモニュメントがあり、中流域と下流域（河口）にもモニュメントを設置して、モニュメント巡りを行えば、那賀川の魅力アップに繋がると思いますが、これについてご意見をお願いします。

【委員】

設置済の2カ所について、源流モニュメントは「那賀川アフターフォーラム」、長安口ダムモニュメントは国土交通省の工事の中で設置しています。新たなモニュメント設置について、補助等を利用することも候補として考えられます。

また、最近注目されている「クラウド・ファンディング」には「寄付型」「購入型」「金融型」の3つの形態があり、今回のケースでは「寄付型」が該当すると思われますが、これを実施するには返礼品が必要になってきます。さらに「クラウド・ファンディング」は、個人や団体が行う「通常型」と、自治体が行う「ふるさと納税型」の2つのタイプがありますが、「ふるさと納税型」については、税金を使用することから、住民の理解が必要であると考えます。

【委員】

自治体で実施する場合は予算化する必要があります。

目標金額に達しない場合の不足の財源についてどうするか、一般財源を投入する場合は住民の理解が得られるかなど課題があり、それをクリアする必要があります。

【委員】

実施するあたり資金、どこに設置するかもありますが、管理について検討する必要があると思います。

【委員】

源流モニュメントの設置時は、自治体や那賀川関係の企業等からもご支援いただきました。モニュメントまでの登山道の整備は企業の方々がボランティアで行っています。

【委員】

予算面については、課題もあるので時間もかかると思いますが、今後もいろいろ考えながら、どういうことが出来るか意見を頂きながら進めていければと思います。



6. その他

【委員】

山の水は水道の蛇口まで繋がっているというような認識がないことへの危機感を持っており、山の状態については発信していきたいと思っています。

7. 総括

【委員】

本日は現場にも行き、非常に勉強になりました。

今から人口減少が進んでいくと思われませんが、その中で如何に地域を維持し、今までの取組を継続していくかが課題であると思います。今はいろいろ苦労しながらやっていますが、これからは他からの協力も得ながら一緒に取り組む事ことで、しっかり山をみてもらうなど、新たなフェーズに入ろうとしているかと思っています。

阿南市、那賀町にはいろいろ心配事もあると思いますが、今後しっかりした枠組みが出来た中で取組を進めていくことが大事だと思います。事務所長も地域回りなど地道な活動をしており、また委員の方がやっている取組などを発信していくも大事で、子供達にもしっかり学習をつづけ、その子らが大きくなって山のことをわかり、地域に愛情をもってもらえるような取組を考えているものと思います。こういうことを続けていくことで新たな若い人達が賛同し、繋がっていける気がしたので、引き続きこの会議をしっかりと続けていければと思います。